



第1回 脱・片づけバトル!

～これが私の片付ける理由～

【日時】 平成30年5月12日(土) 午前10時～12時
【場所】 山口隣保館 会議室
【講師】 整理収納アドバイザー 牧野 久美 氏
【受講生】 大人14人(小学生の保護者)

実施
報告



子育てをはじめから、片づけに関してイライラすることが多くなりました。
口癖は「なんでそんな所に置くの?」「も～」「片付けて!」「何回言ったら分かるの?!」で…。
片づけについて学んだけど、今度は子どもとの間に温度差ができて、バトルが減ることはありませんでした。

子どもに片づけてほしい理由は?

いろいろ試行錯誤して、「子どもの目線で考える」ことが大切だと分かりました。

なぜ子どもに片づけてほしいのでしょうか。受講生の方の理由を一部ご紹介します。

- ・散らかっている部屋がいや、いらいらする
- ・家をきれいに保ちたい
- ・片付いていないと掃除がしにくい
- ・探し物をしないようにするため
- ・物を大切にしてほしいから
- ・けんかをしないように
- ・片づけ方を身につけてほしい

これらはすべて親の都合

では、子どもの意見は?
⇒多くの子の理由は
「怒られるから」
「親に言われたから」

親は…

・「子どもの代わりに片づける人」「子どもに片づけるように言う人」



・「子どもが片づけられるように手伝う人」



⇒片づけやすいように仕組みを作り、教えること

片付けの仕組

片付けとは、「元の場所に戻すこと」

物をどこに戻すのか、場所（定位置）が決まっていないとできない！

整理 … 使うモノ、使わないモノを区別する。

収納 … 使いやすい場所に使いやすく収める。

片付け…「元の場所」に戻す。

出す

分ける

しまう

定期的に見直しをしよう！

出す … 中身をすべて出す。

分ける … 使うモノと使わないモノ、アイテム別などで分ける。ゴミを捨てる。

しまう … 定位置を決めて（ラベルを貼るなど分かりやすく）、必要数をしまう。

※使わない物はストック(予備)として別の場所にしまおう。

Q. 親から不必要に見えても、子どもが「いる」と言った場合は？

A. 子どもに「よく使う物はどれか」を聞いてあげましょう。

あまり使わない物はストック(予備)にするなど別の場所に置いたりしましょう。

Q. 親から見たら同じようなもの（カラーペンなど）でも、子どもが「使う場面や使い方が違うのでどちらもある」と言う場合は？

A. 両方ともよく使う物として分類しましょう。



子どものための収納 = 「どこに何があるか分かるようにする」のが目的です。

服の片づけ

たくさん服があっても、子どもはお気に入りばかり着てしまう…。

思い切って枚数を減らして、すっきりした収納にしましょう。

全く着ないでサイズが合わなくなる服は、捨てたようなものです。

⇒着る服だけ（必要枚数）を持ちましょう。

5枚で足りる子や、汗かきで多く必要な子もいます。



枚数を減らせば、一つの引き出しにすべて収まります。

⇒タンスの上の段にシャツ、下の段にズボン…と分けて入れるより出し入れしやすくなります。

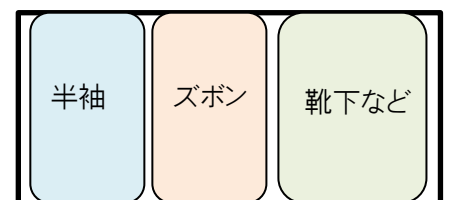
靴の空き箱を活用しよう！

タンスに入れると ①仕切りになる

②服が倒れない

③模様替えしやすい

などメリットがたくさん



長袖



箱ごと入れ替えるだけで模様替えできる

片付けで身につく力

片づけを続けていくと

- 整理 … 選択力（大切なモノコトを選び取る力）
- 収納 … 想像力（先のことを想像する力）
- 片づけ… 習慣力（続ける力）

が身につくと言われています。

片付けにおける子どもとの関わり方

人が行動する理由はたったの2つ。

① 何かを失わないため（ネガティブな理由） ⇒ しぶしぶ、いやいや行動

② 何かを得るため（ポジティブな理由） ⇒ やる気になって行動

ネガティブな声掛けをしていませんか？

例)「片づけないなら捨てるよ!」「早く片付けないとおやつないよ」

できるだけポジティブな理由で片づけられるような声掛けをしてあげましょう。

※『ランドセルを置きっぱなしだったら』というポジティブな声掛けをするか、講座で出た意見を一部ご紹介します。

- 急ぎの用事でもあった？
- つまづいて怪我をしないようにしようね
- 早く片付けたら、遊ぶ時間が増えるよ
- おやつの前に学校からのお便り出してね
- ランドセル片づけてくれたら、お母さんうれしいな
- ママがこれを片づけるのと〇〇ちゃんがランドセルを片づけるの、どっちが早いかな？
- ランドセルはどこに片づけるんだったかな？
- 片づけたらおやつにしようか
- 見せたいものがあるの？
- ランドセルのおうちに連れて行ってあげて
- 一緒に片づけようか

牧野先生からのメッセージ

☆子どもが片づけやすいように、仕組みを作って教えてあげましょう。

☆物の定位置を決めて、シンプルに収納しましょう。何があるのかがよく分かります。

☆定期的に収納の見直しをしましょう。物が増えていたり、必要な物が変わってたりするかもしれません。

☆親からは不必要に見えても、子どもにとっては必要なものもあります。子どもによく使う物を聞いてあげましょう。

☆服は、お下がりが必要なさそうだったら断ることも大切です。

☆ポジティブな寄り添う声掛けをしましょう。

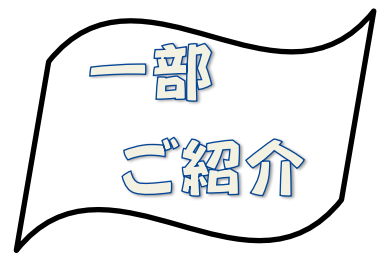
講座の様子から

約2時間、先生の体験を交えながら、正しい片づけの仕方や仕組みづくり、親の役割や声掛けの仕方などをお話していただきました。受講生の方はメモを取りながら熱心に聞いていらっしゃいました。また、グループディスカッションではたくさんの意見が出ていました。

アンケートにもたくさんの感想が寄せられました。



受講生の方からの ご意見・ご感想



- ☆片づけの仕組みづくりと子どもが自分で片づけられるための手伝い・声掛けをしたいと思います。ポジティブに！
- ☆とてもよかったです。またいろいろな講座をしてほしいです。
- ☆すごく参考になりました。実践あるのみ、頑張ります。
先生ありがとうございました。
- ☆いつも子どもに親の理想を押し付けていました。大切なのは、子どものための収納(どこに何があるか分かる収納)。これからはこれを第一に考えてやっていきたい。
- ☆自分自身が整理収納が苦手なので受講しました。声掛けの仕方、片づけの意味を親子で考えることからはじめたいと思います。
- ☆「片づけをしなさい。」は親の都合だと聞き、ハッとしました。物の定位置を決めてラベリングをする、というシンプルな方法だったので取り組みやすそうです！
まず子どもがどうしてそうしたいのかを聞いたうえで、優しく前向きな声掛けをしていきたいと思います。
- ☆ご自身の引き出しを実際に見せてもらったり、グループワークで分かりやすく身に入りやすい講座でした。具体的でよかったです。
- ☆本日は、片づく仕組み、片づけにおける子どもとの関わり方について、振り返るよい機会、そして改善してく方法等を学ぶことが出来ました。ありがとうございました。
まずは、使うモノ・使わないモノを親子で区別することから始めていきたいです。そして何よりネガティブな声掛けを子どもに寄り添うポジティブな声掛けに変えていきたいと思います。
- ☆一緒に参加された方々とも楽しく意見交換ができました。ポジティブな声掛けに心がけていけるようにしたいです。
- ☆非常に良い講座で、勉強になりました。片づけにはもともと興味があり、本などいろいろ読み、実践はしていたのですが、子どもの片づけがなかなかうまくいかず…。スライドの「親の都合」を見てドキッとしました。片づけはできるようになっても、子どもへの伝え方手伝い方はまだまだでした。教えていただいた事を実践していこうと思います。

御協力ありがとうございました

